

議会報告会報告書

平成25年5月10日

山陽小野田市議会

議長 尾山信義 様

A班

代表 伊藤 實

平成25年3月定例会議会報告会の実施状況について下記のとおり報告いたします。

記

1 開催日時

平成25年4月22日（月） 19:00 ～

2 開催場所

赤崎公民館

3 参加人数（市民）

14 人

4 担当班議員名

（伊藤 實）（岩本信子）（大空軍治）（下瀬俊夫）
（高松秀樹）（平原廉清）（松尾数則）

5 報告会次第

- （1） 市議会議長挨拶
- （2） 3月議会の報告
 - ① 総務文教常任委員会
 - ② 民生福祉常任委員会
 - ③ 産業建設常任委員会
 - ④ 一般会計予算審査特別委員会
 - ⑤ 基本計画審査特別委員会
 - ⑥ 議員定数に関する特別委員会
 - ⑦ 議会運営委員会

(3) 質疑応答

6 主な質問・意見・提言

- ① 高泊方面は小型バスが走っているが、昼間の大型バスは空車が多い。バスの小型化を進めてフリーバスとならないか。

[回 答]

ご意見としてうかがう。

- ② 市民が参加することで民意があがり、それによって議会がアップし、しいては、執行部がレベルアップする。基本計画の議事録を提出したが、市民レベルでは基本計画だからそれしかできない。財政計画の裏づけがないとできないので後は議員で審査するものと思う。実施計画には財政計画が必要だが、それがなくて審査できたのか。また、分科会の仕分けは、執行部がしたと聞いたが議会自らがするべきではなかったのか、議会の自主性はどうか。

[回 答]

仕分けは議会がしている。

- ③ 動議について、日程追加のような動議ではない、条例改廃に伴うもので、下瀬議員が「条例の不備である」ということの動議に対してすぐに11名の賛成があった。議長動議ではなくは議案として出させるべきではなかったのか、検討ください。

[回 答]

手続き的には問題はなかった。分かりにくい点はあるとは思いますが重要なことだから本会議場で集中審査をした。

- ④ 手続きの問題ではない、条例の改廃だから議案として出してやるべきだった。
- ⑤ 重要なことだから動議にしたといわれたが、市民にとって重要なのか、議員にとって重要なのかどうか。

[回 答]

日程的な理由であった。だから本会議場で審議した。

- ⑥ 交通活性化はデマンド交通に変更になったのか。

[回 答]

活性化協議会で補助金のあり方の問題点を指摘する。

⑦ 「住民投票条例を尊重しなければならない」をどのように考えているのか。

[回 答]

定数は議会が決めるものにとらえる。

⑧ 50%に達せず成立していないが、議員に真剣に審議してくれのあらわれた。